

核兵器を禁止する条約がついに実現へ 被爆国から「ヒバクシャ国際署名」を大きく

6月の国連会議へ署名を



3月27～31日、ニューヨークの国連本部で核兵器禁止条約交渉会議（第1会期）が開かれました。被爆者をはじめ、圧倒的多数の世界のひとびとが長年にわたって求め続けてきたものであり、歴史的な会議でした。

5月中には核兵器禁止条約の文案が示され、6月15日から始まる第2会期で審議・採択される予定です。

交渉会議・第2会期へ、わたしたちは「ヒバクシャ国際署名」を提出します。交渉会議のホワイト議長は「6月にはもつと多くの署名を届けてください」と「ヒバクシャ国際署名」に期待しています。

1人でも多くの核兵器禁止の声を署名に託してください。その力が条約実現、さらに核兵器廃絶への大きな力になります。

核兵器禁止で平和と安全を 日本政府は力を尽くすべき

核兵器禁止を交渉する歴史的な会議に、日本政府の代表は参加を拒否する恥ずべき態度をとりました。被爆者から「政府に裏切られた」と厳しい非難の声があがったのは当然です。

日本政府が不参加の根拠のひとつとしたのは、北朝鮮の核・ミサイル開発でした。国連決議などこれまでの国際的な合意に反する北朝鮮の行為は許されません。

しかし、日本は、アメリカの「核の傘」の下で、アメリカによる北朝鮮への度重なる核威嚇に協力してきました。さらに、安倍政権は、米トランプ政権による北朝鮮への先制攻撃の可能性に反対しません。平和憲法を持つ国として、アメリカへ平和的解決を求めるべきです。



同時に、核兵器禁止の立場に立つて、東アジアから核兵器をなくすことも重要です。「ヒバクシャ国際署名」の力で非核平和の日本を実現しましょう。

(2017.5.6)